松尾光代

（水泳・１部女子）

ビューティースイム
「水泳」とは私にとってまさに「光」

奈良での入院中、友人と見た全国障害者スポーツ大会！
それをきっかけに、友人と約束した「チャレンジ！おおいた大会」への出場！！
出場に向けて、チャレンジしてきた「マツ」こと、松尾さんの軌跡を直撃インタビュー！！！

まず、競技を始めたきっかけは何ですか？

○バレーの練習の際にけがをし、２年前に奈良の病院に入院した患者同士で「のじぎく兵庫大会」を見に行って、感動したのがきっかけです。

始めたのですか？

○バレーができれば、一番良かったのですが、できないので、小さい頃から得意であった水泳をリハビリを兼ねて始めました。

なぜ水泳を大分に帰ってきて、

○大分県に帰ってきて、水泳の情報はなかなかもっていなかったので、あすなろ福祉課に電話をしてみたところ、あすなろを紹介いただいたことがきっかけです。それが、昨年の５月頃でした。その後、すぐに九州大会に出場することになりました。

スイミングクラブに所属することになった経緯を教えてください？

松尾さんは、現在、「あすなろスイミングクラブ」に所属しています。

練習はきついですか？

○きついのが練習です。毎回２～３キロ泳ぎますが常に自分の限界を超えている状態です。

コーチの指導も厳しいですか？

○はい！とっても厳しいですが、フォームの修正などは本当にありがたいです。強くなるための為にはどんな厳しいコーチでもついて行きます。

ライバルはいますか？

○水泳を始めて間もなく、それほど選手を知らないので、今のところのライバルは、弱い自分です。

さて、大分県障がい者水泳連盟の会長をなさっているとのことですが、今後、障がい者水泳連盟をどのようにしていきたいですか。

○そうですね…。私も大分県に帰ってきたときに、水泳に関する情報をどこに聞いたら良いのか分からなかったので、そういう情報を求めている人達の窓口としての役割を積極的に果たしていければと想っています。

今大会への意気込み・目標をお聞かせください。

○出るからにはメダルを取りたいと思います。全国大会の経験も無く、全国レベルも分からないので、がむしゃらに頑張りたいと思います。

松尾さんにとって、全国障害者スポーツ大会とは何ですか。

○恩返しです。長い間、私の足の治療に携わってくれた医療チームの皆さん、精神面を支えてくれた大切な人達、そして今水泳を応援してくれている全ての方々へ頑張っている姿を見てもらう事で感謝の気持ちが伝われればと思っています。

「チャレンジ！おおいた大会」後の目標などはありますか。

○来年の新潟大会も狙います。そして生涯現役で泳ぎ続けるつもりです。

最後に、松尾さんにとって、水泳とはなんですか。

○私にとって水泳とは「光」です。暗く長かった闘病生活にキラキラと強い光を射してくれました。生きがいや希望などという簡単な言葉ではとてもまとめられないこれからの人生にとってのかけがえのないパートナーです。